



カンボジアの子どもたちに教科書を

2011年9月 No. 38

## カンボジア便り

### 新しい学校での識字教育支援が始まりました

前回のニュースレターでお伝えしました学校**No.9**での識字教育への支援を実際に開始しました。

その内容は、先生2名の給与（一人45ドルで合計90ドル）、教室として使用している民家に支払う家賃（現在月額20ドルで、一定期間経過後30ドル）および敷金（60ドル）、教科書計100冊（約100ドル）、中古の机15個（計150ドル）、黒板2個（計30ドル）などです。

それらを合計すると、当初教室の立ち上げに掛かる費用は340ドルとなります。

家賃・給与など今後毎月必要となる経費は、120ドルですが、その他の備品などで小額の追加支援は必要になると考えています。

家賃や先生の給与といった経費に関しては、カンボジアでの一般的な事例を参考とし、家主・先生との交渉を経て決定しました。当会がNPOとして教育支援をしていることを考慮してもらい、一般的な事例よりは低い金額になっています。

現在確認できている範囲では、子どもの数は**60名**ほどで、当会の支援で学校が軌道に乗ってくれば、さらに増える可能性もあります。引き続き、この識字学校への支援をおこない、ニュースレターでご報告していきたいと思えます。

#### ～目次～

カンボジア便り	1
・新しい学校での識字教育支援が始まりました	
・新年度に向けて教科書の追加支援をすすめています	
・洪水被害の支援も継続しています	
ニュースレター37号の発送作業に参加して	3
事務連絡	4



### 学校No.9 附属識字学校の授業のようす

当会の支援で先生が二人になり、教室に仕切りができたので、レベル別の2クラスの授業が別々にできるようになりました。



みんな元気に学んでいます

## 新年度に向けて教科書の追加支援をすすめています

これまで行ってき11校への教科書支援ですが、秋からの新年度に向けて不足教科書を補充する準備を進めています。

既に現地スタッフのリティさんが全学校の校長と会議を行い、教科書の保存状況、子供から回収できた教科書の数、紛失・破損した教科書の数、新年度に必要な補充教科書の数、子供が教科書を手にしたことで得られた教育成果、などについて話し合いを行いました。

一部の学校の集計が終わっていないため、今回のニュースレターでは具体的に報告できませんが、次回のニュースレターでは支援の成果や新年度の追加支援について報告できると考えています。



校長先生たちとの会議のようす

## 洪水被害の支援も継続しています

洪水被害に対する支援のうち、ワットクドル小学校（学校No.9）の黒板や床の補修は、日本で震災があったことや、リティさんの体調不良などもあり、のびのびになっておりましたが、現在支援を再開しております。なお、水に浸かった教科書の補充については、諸般の事情で今年度の補充と合わせて実施することになっております。

当初、多くの学校に被害があると考え緊急支援のお願いをしましたが、幸いにも被害は限定的でした。そのため、これまで洪水支援に使った2万円を除く36万円は一般会計に組み込ませて頂きました。（市井）

## ニュースレター37号の発送作業に参加して

上出 洋生(かみで ひろお) 会社員

6月12日、ニュースレター発送作業にスタッフとして参加させていただきました。

スタッフになったきっかけというのは、友人の誘いでビビンの会やボランティア活動に参加してみたところ、同年代をはじめ、様々な年代の方が一生懸命かつ楽しみながら活動しているのを見て、深く関わってみたいと思ったからです。

まだ明確にボランティアをする目的は見つかりませんが、一回だけでなく継続して活動することが大事だと思っているので、極力毎回参加するようにしています。

今回もいつもどおり自己紹介から始まりました。出番がすぐ回ってきてしまったため、お薦めの本を紹介できなかつたのでここで紹介させていただきます。

『人を動かす』…デール・カーネギー著 世界で1500万冊売れており、日本でも「上司に読んで欲しい本No1」という本でもあります。人間関係の考え方が分かりやすく書かれているのでお薦めです。私自身、実行できているかと言えばまだまだです……。

今回の自己紹介は、イベントリーダーの大澤さんのお題で「3億円あったらどのように使うか(貯金禁止)」というもので、個性のある答もあり、楽しく悩ませていただきました。(笑) 次回のお題にも期待させていただきます。

ニュースレター発送作業は、ご支援を頂いている方々に感謝の文を一枚一枚丁寧に書いていくことに加え、宛先の仕分けなどたくさんありましたが、参加したスタッフやボランティアの皆さんのおかげでとてもスムーズに行われました。その後の昼食会では改善点も挙げられましたが、より作業のしやすい環境、その場にきた人たちと交流しやすい環境を整えることができれば良いと思います。

7月1日から日韓アジア基金は認定NPO法人になったので、より多くの方に活動を理解していただき、日韓アジア基金のイベントに参加していただけることを楽しみにしております。



全員で宛先を振り分け中

## 認定NPO法人の資格を取得しました

寄付をなされた方が所得税の優遇を受けられる「認定NPO法人」の資格を、6月16日付けで取得しました。資格の有効期間は平成23年7月1日～平成28年6月30日です。

当会への寄付及び賛助会費は、確定申告をなされれば所得税の還付を受けられ、住民税の還付を受けられることがあります。活動会費は対象になりません。

詳しくは、お近くの税務署・お住まいの都道府県・市区町村税務担当部署にお尋ね下さい。

## 平成22年度(平成22年7月1日～平成23年6月30日)年次総会を開催します

日時・場所 9月24日(土) アジア文化会館 124教室

詳しくは同封の開催通知をご覧ください。

## 当会イベントにボランティアスタッフとして参加下さった方(敬称略・五十音順)

6月12日 ニュースレター37号 発送作業

雨間由起子・大平佳乙里・大山祐樹・古川貴司・山本千恵・北村宏大・宮澤篤志・北澤裕介

2011年5月31日～年8月25日に会費・ご寄付を下さった方 敬称略・五十音順(別枠除く)

井上 卓也	加藤 郁雄	合田 稔	田村 洋平	前島 盛一	柳田 文子
内尾亜津子	川崎由紀子	越塚 忠巳	樋口晴太郎	松本 博一	湯田亜里沙
大澤 龍	北川 節子	神保 国男	樋口 督水	村松 悦子	吉村 悦子
小原 勝子	久保田裕美	瀧口 利章	福本 正勝	矢崎 芽生	渡部友理恵

ユニファクター・プレコラ | イ・ココロ匿名 | 若宮 英生・光子

## ご入会・ご寄付のお願い

活動会員:年会費 5,000円(学生、未成年者 2,000円)  
賛助会員:年会費1口5,000円(学生、未成年者 1口2,000円)  
法人会員:年会費1口10万円  
ご寄付:2,000円以上おいくらでも

<郵便振替口座>

口座番号 00180-2-25153

口座名 日韓アジア基金

・活動会員:活動に積極的にご参加頂ける方。総会での議決権があります。

・賛助会員:定期的にご支援頂ける方。

ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニュースレター」をお届けします。

## <お問合せ先> (日本語でお願いします)

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(ABK)内

Tel:090-4456-2942(庶務・会計担当 大澤) FAX:03-3946-7599(ABK)

E-メール: [ilaf@iloveasia2.sakura.ne.jp](mailto:ilaf@iloveasia2.sakura.ne.jp)

HP: 検索サイトで「日韓アジア基金」で検索なさって下さい。

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也